

肝臓切除(開腹)を受けられる(

)さんへ

入院時に持参してください。

説明日(/)

説明者氏名()

ST06197546

月日(日時)	(/)	~(/)	(/)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/)	(/ ~ /)	
経過(病日等)	入院日	~手術前日	手術当日朝	手術直後~集中治療室(SICU)	手術後3~4日目	手術後5~6日目	7日目	手術後8~12日目
達成目標	◇手術の準備が整っている			◇血圧・脈拍が安定している ◇呼吸が安定している ◇痛みがコントロールできる ◇出血・感染がない ◇肝機能不全の徴候がみられない ◇ドレーンの性状に異常がない				【手術後12日目ごろ退院・転院です】 ◇退院について不安がない
治療・薬剤(点滴・内服)		手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします	麻酔科医の指示で 起床時に薬を内服する場合があります	鼻から胃に管を入れます → 抜きます 酸素マスクをしています → 除去します 点滴を24時間行います 1日3回抗生剤の点滴があります → 肝機能を改善する注射があります →				
処置	内服がある方は薬を確認します。ワファリンを飲んでの方は点滴に変わることがあります	15時に下剤を飲みます 21時に下剤と安定剤を飲みます	早朝に浣腸します 弾カストッキングをはきます	背中中に痛みどめの管が入っています → 抜きます 心電図モニターをつけま → 除去します 腹部にチューブが挿入してあります → 抜きます				手術後7日目に 鉤を半分とります
検査	採血・レントゲン・心電図・肺機能検査があります 身長・体重を測定します	肝機能検査のための注射・採血があります		手術前から内服している薬がある方は医師の指示で薬を再開します	胸腹部のレントゲン・血液検査があります	胸腹部のレントゲン・血液検査があります CT検査があります	血液検査があります	胸腹部のレントゲン・血液検査があります
活動・安静度	病院内自由です			ベッド上で安静です 寝返りは出来ます	翌日から看護師と一緒に立つ練習からはじめて病棟内を歩行訓練します		病院内を歩行できます	
安全	ナースコール・ベッド柵を設置します 運動靴の使用をお願いします				歩行の際、看護師が付き添います			
食事		夕食から食事は中止です 栄養剤を1缶飲みます 基本的に21時以降は絶飲食です	水分も食事もとることができません	胃管を抜いたら水分を取ることが出来ます	2日目より食事は3分粥から、徐々に形態を上げていきます			
清潔	入浴やシャワーできます	体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください	洗面・歯磨きをして下さい 男性の方は髭剃りもして下さい	体拭きをします			傷の状態が良ければ5日目からシャワーに入れます	
排泄				尿の管が入ってきます → 抜きます 便意をもよおした時は、ベッド上で便器かオムツを使用します				
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします 手術までの流れについてわからないことは説明します 呼吸訓練を続けて行います ★腹式呼吸・口すぼめ呼吸 ★咳・痰出しの練習 禁煙はできていますか? ご本人及びご家族に手術の説明を行います	麻酔科医師、手術室看護師が会いに来ます 手術に必要な物品がそろっているか確認をしますので、1つの袋にまとめてください(看護師が預かります)	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡・コンタクトレンズ・かつらなど手術室に行く前に必ずはずして下さい 貴重品は必ずご家族に預けてください 【SICU入室期間の荷物について】 入院時に持ってこられた荷物は全て、一旦持ち帰るか4階家族控え室のロッカー(有料)を使用してください 手術中、家族の方は4階の家族控え室で待機して下さい 離れる際は必ず病棟まで連絡をお願いします	手術が終わったら、7階のSICU(集中治療室)へ移動します 痛みが強いときは痛み止めを使います。遠慮なく言って下さい 手術が終わり次第、電話で連絡致しますので家族の力は、お寄せください 主治医からの説明があります	3日目に病棟へ戻ります(術後の状況で変更があります)		退院指導を行います	診断書・証明書が必要な方は早めに提出してください。

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。

注3 術後の状態に応じて予定は変更することがあります
変更時はその都度説明を行いますので不明な点がある際はお尋ね下さい 久留米大学病院 消化器外科 2016年8月改訂